

## 10年経験者研修と免許状更新講習との重複について

## ● 受講者の重なり

## ① 同一年度内に10年経験者研修と免許状更新講習の受講が重複する者の割合

		合計	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	中等教育学校
22 年度	10年経験者研修対象者(A)	11,317	468	4,019	2,803	2,937	1,068	22
	同一年度における免許状更新講習受講対象者(B)	<b>1,468</b>	43	574	386	345	119	1
	10年経験者研修対象者に対する更新講習受講対象者(B)／(A) (%)	<b>13.0</b>	9.2	14.3	13.8	11.7	11.1	4.5
23 年度	10年経験者研修対象者(A)	12,908	485	5,248	2,969	3,013	1,160	33
	同一年度における免許状更新講習受講対象者(B)	<b>2,247</b>	42	924	549	532	195	5
	10年経験者研修対象者に対する更新講習受講対象者(B)／(A) (%)	<b>17.4</b>	8.7	17.6	18.5	17.7	16.8	15.2

## ② 免許状更新講習を同一年度に受けるものに対する研修の軽減措置

		総計	都道府県	指定都市	中核市
22 年度	教育委員会数(割合)	<b>15 (14.2%)</b>	8 (17.0%)	2 (10.5%)	6 (15.0%)
23 年度	教育委員会数(割合)	<b>21 (19.6%)</b>	11 (23.4%)	2 (10.5%)	8 (19.5%)

## ③ 10年経験者研修を免許状更新講習として認定している教育委員会数

		総計	都道府県	指定都市	中核市
22 年度	教育委員会数(割合)	<b>4 (3.8%)</b>	2 (4.3%)	0 (0.0%)	2 (5.0%)
23 年度	教育委員会数(割合)	<b>4 (3.7%)</b>	2 (4.3%)	0 (0.0%)	2 (4.9%)

※ 平成22年度及び23年度10年経験者研修実施状況調査(文部科学省調査)より

# 10年経験者研修と免許状更新講習との重複について

## ● 講習内容の重なり

更新講習の内容			10年経験者研修で取扱う教育委員会の割合(※)		
事項(時間数)	項目	内容	小学校(107教委)	中学校(105教委)	高等学校(61教委)
【必修領域】 一 教職についての省察並びに子どもの変化、教育政策の動向及び学校の内外における連携協力についての理解に関する事項	教職についての省察	イ 学校を巡る近年の状況の変化	(・学校を巡る近年の状況の変化) 51.4%	51.4%	54.1%
		ロ 教員としての子ども観、教育観等についての省察			
	子どもの変化についての理解	イ 子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見(特別支援教育に関するものを含む。)	(・特別支援教育) 89.7%	89.5%	88.5%
		ロ 子どもの生活の変化を踏まえた課題	(・生徒指導、教育相談) 93.5%	94.3%	98.4%
教育政策の動向についての理解	イ 学習指導要領の改訂の動向等	(・教育課程の編成) 50.5%	50.5%	50.8%	
	ロ 法令改正及び国の審議会の状況等	(・法令改正や国の審議会の状況等) 48.6%	48.6%	54.1%	
学校の内外における連携協力についての理解	イ 様々な問題に対する組織的対応の必要性	(・学校経営(組織マネジメントを含む)) 64.5%	64.8%	68.9%	
		(・地域との連携) 50.5%	50.5%	55.7%	
	ロ 学校における危機管理上の課題	(・学校間連携) 38.3%	40.0%	39.3%	
		(・危機管理) 52.3%	53.3%	52.5%	
【選択領域】 二 教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項		幼児、児童又は生徒に対する指導上の課題			

※上記の割合については、平成23年度10年経験者研修に係る実施状況調査(文部科学省調査)において聴取している、10年経験者研修において各都道府県教育委員会が実施している校外研修の項目を、文部科学省にて分類・集計したものである。